



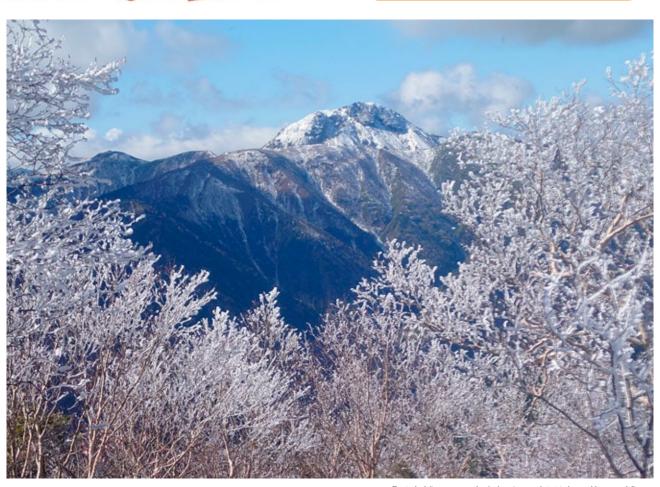
第 42 号

令和5年1月(年2回発行)

社会医療法人 博愛会 菅 間 記 念 病 院

〒 325-0046 那須塩原市大黒町2番5号 TEL: 0570-08-0733(代表) URL: https://www.hakuai.or.jp/

菅間付属診療所TEL:0287-67-1570菅間在宅診療所TEL:0287-73-5934在宅総合ケアセンターTEL:0287-62-3311NASPA(フィットネス)TEL:0287-67-1577那須看護専門学校TEL:0287-67-1188



「霧氷越しの日光白根山」 撮影者 菅間 博

~病院理念~

1. 博愛と信頼 2. 地域と共に 3. 高度な医療

~患者憲章~

患者さまには、以下の権利と義務があります。

- 1. 思いやりのある医療を平等に受ける権利
- 2. 一人一人に最適な医療を受ける権利
- 3. 病状・治療の充分な説明を受ける権利
- 4. 他の医師や医療機関に相談する権利
- 5. 治療方針をみずから決定する権利
- 6. 個人情報や診療の秘密が守られる権利
- 7. 診療環境の秩序を守る義務

~基本方針~

- 1.「いつでも」「どこでも」「だれでも」をモットーに、救急 医療から在宅医療まで、包括的な医療サービスを提供します。
- 2. 近隣の医療保健施設と連携し、地域の医療レベルの向上、人々の健康の増進に貢献します。
- 3. 常に医療技術の研讃に努めるとともに、人間性を高め、高度で人間味のあるチーム医療を展開します。
- 4. 施設と設備の整備に努め、安全で効率的な診療環境をつくります。
- 5. 健全で透明性の高い経営に努め、活力に満ちた病院機能を維持します。

令和5年 新春を迎えて

—県北の地域医療を主役として担うためにJump Up! —

社会医療法人博愛会 理事長 かん ま ひろし 菅 間 博

謹んで令和5年の新春のお慶びを申し上げます。

昨年、最も驚かされたのはロシアによるウクライナ戦争です。世界平和を誓約する国連常任理 事国の隣国への侵略戦争!マスコミは、プーチンの冷徹な顔貌とゼレンスキーの怒りの眼差しを、 コマーシャルを挟みながら放映しています。三期目で専制体制を構築した習近平はゼロコロナ政策 で躓き、引き続く経済減速に対する中国国民の意識を、次は軍事的な台湾併合に向ける可能性が高 いと考えられます。その時マスコミは、日本人は如何に反応するのか?

昨年は、博愛会にとって前進と後退が雑ざり難しい年でした。前進として内田厚副院長が着任し 泌尿器科が再スタートするとともに、人見泰弘医師、横山琢司歯科医師が加わり循環器と歯科が充 実しました。後退として入職後短期間で退職した医師がいたこと、職務上の軋轢からか古株の師長 を含む看護師の退職が目立ったことは残念でした。この3年間はコロナ禍で受診行動パターンが変 化し、病院経営的に減収でしたが、補助金により大きな増収でした。その増収分は電子カルテを始 めとするデジタル変革 (DX) と次世代遺伝子解析 (NGS) 等の高額医療機器、物への投資に回しまし た。併せて人材確保のため全職種の初任給2万円アップ、組織安定化を目的として師長給与アップ の給与テーブル改訂など、大胆な人への投資を断行しました。

コロナ以前から、厚労省は国力減退、少子高齢化時代の医療提供体制として、医療機関の機能分化を声高に唱えています。しかし、それは都会でのみ成り立つモデルで、医療機関の少ない地方では困難です。逆に高齢化した住民の様々な要望に対応できるデパート的な病院が必要です。ケアミックスの病院を中心とした街づくりが地方では必要と考えています。国の方針に反して、ケアミックスの菅間記念病院が生き残るには、診療と経営の効率アップとともに、医療の質を都会の専門病院並みに引き上げることが必要と考えています。そのためには病院が基本方針に掲げるように、職員全員が「常に医療技術の研鑽に努めるとともに、高度で人間味のあるチーム医療を展開する」必要があります。

今年は兎年です。博愛会は「博愛と信頼 地域と共に 高度な医療」を理念として、目標に向かって Jump Up します。コロナ後の県北医療を主役として担えるよう職員一丸となって頑張ります。 尚一層のご指導、ご鞭撻を賜りたく心からお願い申し上げます。





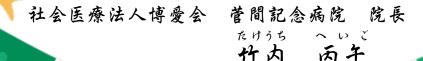






謹賀新年

今年こそ、新型コロナが消え去ります様に ロシアとウクライナに平和が訪れます様に



あけましておめでとうございます。

社会医療法人博愛会 菅間記念病院 事務長 あい はら たかし 藍 原 隆



今年はどんな年になるのでしょうか。新型コロナウイルスは収束に向かうのでしょうか。5 類への見直しはいつになるのでしょうか。歴史的な円安はどこに向かうのでしょうか。ウクライナ情勢は……。更に、石油・半導体・食料問題、地球温暖化等、様々な困難な課題が錯綜し、世界中が混迷を深めています。今更ながらに世界の中の日本を意識せざるを得ません。国債の増発により日本の財政は悪化を辿り、医療福祉の分野においても大きな影響はもはや避けられません。これまで以上に1病院1企業としての経営努力が求められます。そんな厳しい時代ではございますが、地域医療機関の皆様との連携をより一層密にし、栃木県北の医療を守るために、全力投球で頑張りたいと思います。

新年を迎えるに当たり、博愛会職員は、地域の皆様のご支援とご協力に改めて深く感謝申し上げますと共に、ご期待にお応えするため、一人一人が明確なビジョンを持ち、挑戦者として自らを奮い立たせ、積極果敢に行動してまいります。そして、引き続きワンチームの精神で総合力を発揮し、地域医療に貢献してまいりますので、今年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

病院 DX (Digital Transformation) について

~令和4年7月に電子カルテ等医療システムを更新いたしました~



当院はこれまでも多数の情報をデジタル化することにいち早く取り組んでまいりました。まずは、当院の医療情報のデジタル化の歴史をご紹介致します。

- ・昭和53年:診療報酬請求対応に医事システムを導入
- ・平成 3 年: MRI を導入
- ・平成 12 年: 血管撮影装置を導入
- ・平成 15 年: 歯科請求システムを導入
- ・平成 16 年:電子カルテシステムを導入
- ・平成 18 年: 乳房撮影装置を導入
- ・平成 18 年: 骨塩定量測定装置を導入
- ・平成20年:那須塩原クリニック電子カルテシステムを導入
- ・平成25年:移動型X線撮影装置を導入

ここからは過去最高額を投資した今回の病院 DX 化について、デジタル化ポイントをご説明いたします。

01

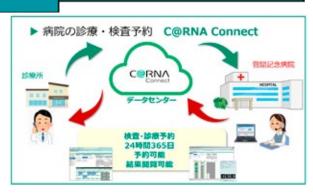
画像解析ソフトを AI(人工知能)化

CT や MRI などで撮影した画像を診断することを画像診断といいます。AI 技術を搭載した解析ソフトウェアを導入し、医師の画像診断をサポートすることで、微細な部分の診断も検出向上が可能となりました。さまざまな病気のデータを分析・蓄積することで、解析技術の精度が向上し、疾病やその傾向などの見逃し防止に使われるようになります。そして、医療現場の人手不足解消や、医療負担増による診断ミスを防止する役割も担っています。



02

近隣クリニックとの連携システムを強化

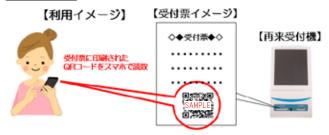


これまでも地域連携については、電話や郵便といったアナログな手法に加え、「とちまるネットワーク」をはじめとした多様な連携ネットワーク環境が形成され、各地域のクリニック(診療所)様とは情報の連携事業を行ってきました。

今回はそれらに加え、CT や MRI などの放射線検査、超音波エコーなどの生理検査、診察予約などを、病院の電子カルテシステムとクラウドサービスを介して行う、新たなデータ連携(C@RNA Connect)を実現しました。これにより連携しているクリニック様の診察室からセキュアなインターネットを通して予約取得と診療情報提供書、検査結果返信などスムーズな診療情報連携が可能になりました。

03

診察室待ち Web サービスを開始



このサービスは、診察待ちの状況をメール等でお知らせするサービスです。ご予約患者が来院され再来受付機にて受付された際に発行される受付票を使用します。受付票に印字された QR コードをお手持ちのスマートフォンなどで読込を行い、メールアドレスを登録していただくと、ご自身の診察順番が近くなったタイミングでお知らせメールが届きます。Web からは、予約診察室内でのリアルタイムでの受付情報も閲覧可能となり、診察進捗を見える化対応いたしました。※未対応診療科もございます。

詳しい内容は受付でお問い合わせください。

<イメージ> 【診察状況メール】



【閲覧イメージ】



他にもオンライン資格確認を利用した保険証確認サービスなど、新しい電子カルテシステムを中心に様々な改善を行っています。当院は、「博愛と信頼」「地域とともに」「高度な医療」の理念に基づいて、「いつでも」「どこでも」「だれでも」「安心・安全」をモットーに公平で開かれた医療、満足される地域医療の提供に日々努めております。

病院 DX 主なシステム導入ベンダー:日本事務器㈱、 富士フイルムメディカルサービスソリューション㈱、日本ラッド㈱



オンライン資格確認

当院では、オンラインによる資格確認システムを昨年10月から開始致しました。このシステムにより、予約患者様の最新保険証情報などを事前確認するできるようになりました。以前は毎月保険証の確認を医事課窓口で行っていたため、確認に時間がかかってしまうことがありましたが、来院時の再来受付機ではこのシステムを利用し、保険証変更となった時のみ窓口へご案内する形になりました。このように患者様の誘導がスムーズに行えるよう、日々業務改善を行っております。

マイナンバーカード 読み取り機設置

博愛会では、政府が進めるマイナンバーカード普及事業について積極的に取り組みを行っております。マイナンバーカードの読み取り機を本院で2台(1F医事課受付・2Fエスカレーター前)、付属診療所で1台(受付)設置いたしました。マイナンバーカードを読み取る事により、患者様の服用されているお薬(含・他院での処方)などの情報を、当院内外の医師や薬局などへ共有する事を許可するものです。お薬の服用禁忌などの確認支援となり、患者様にとっても安心頂ける情報となります。来院時の診察待ち時間の合間にマイナンバーカード読み取りをお勧めいたします。



第21回健康增進公開講座

昨秋 10月 15日に「第 21回健康増進公開講座」が大正堂くろいそみるひぃホール(黒磯文化会館)小ホールにて開催されました。新型コロナウイルス感染症対策として、150 名までの入場制限をさせていただきましたが、多くの地域の皆様や医療職を志す学生の皆様にご来場いただきました。

今年は自治医科大学 臨床薬理学・循環器内科教授 今 井靖先生と菅間記念病院 循環器内科科長 人見泰弘先生に 心臓や血管についてそれぞれご講演をいただきました。

第一部の人見先生からは菅間記念病院の救急車の受け入れ状況から、病院の地域における特性を分析していただきました。例えば救急車要請から要請現場着まで全国平均より6分ほど多く時間がかかっているようですが、これは県北の広い医療圏をカバーしているためと予測されるとのことです。要請から病院着までの時間で見た場合は全国平均とほぼ同じという点においては、ある程度受け入れる病院が決まっているため、搬送は早くできていると解析されていました。また他県の方の搬送割合が多いという特徴にも触れられ、隣接する福島県からの要請や、何よりも観光地であることから他県の方の搬送が多いという当院ならで



▲「心臓・血管病を防ぐ・乗り越える 日常の注意点から最適治療まで」 自治医科大学 臨床薬理学・循環器内科 今井 靖教授

はの特徴も挙げられていました。

第二部の今井先生からは心臓・血管についてはもちろん、循環器科と併せてご専門の臨床薬理学という観点からお薬についてのお話がありました。近年フードロスという言葉をよく聞くようになりましたが、日本はドラッグロスの国と言われているそうです。これは日本の高齢者の3分の1の方が薬をきちんと服用しており、3分の1の方が時々、または自己判断で服用しており、残りの3分の1の方が服用していないという状況を示しているそうです。

またポリファーマシーという言葉についてもお話があり、主に高齢者の方が7種類以上の薬を服用することにより、副作用のリスクが高まることを示しているそうです。 今井先生は主治医や薬剤師とよく相談して、薬の交通整理をすることが大事だということを話されていました。

このように健康増進公開講座は毎年テーマを変えなが ら、現役医師から医療について様々な側面からお話が聞け る催しとなります。ご自身やご家族の健康について考える 良い機会となりますので、来年の開催の際にはぜひ会場へ お越しください。



▲「救急車受け入れ状況から考える日々の健康の在り方」 菅間記念病院 循環器内科科長 人見 泰弘先生

短期入院協力病院の指定について

国土交通省と独立行政法人自動車事故対策機構(NASVA(ナスバ))は、自動車事故により重度後遺障害者となり在宅介護を受けられている方々の短期入院(1回の入院が原則2日以上14日以内、年間45日まで)を積極的に受け入れる病院を「短期入院協力病院」として指定しており、当院も指定を受けています。

短期入院協力病院は、[1] 医学的管理の下に、医師による診察、検査及び経過観察を受けられること、[2] 介護されている家族の方々が、専門家から在宅介護技術(病状観察法、入浴法、食事法など)及びケアの方法等の助

言・指導を受けられることが要件となっています。ご希望の場合には、事前にご連絡ください。



お問い合わせ先 地域医療連携室 TEL 0 5 7 0 - 0 8 - 0 7 3 3 (ナビダイヤル **4** → **4**)

部署紹介 栄養科



下段 左から 齋藤・大和田 茂木

私たち栄養科は管理栄養士が6名在籍し、患者様の病態 に合わせて栄養管理や食事の調整、栄養指導を行っていま す。今回は昨年4月に入職した茂木が栄養科の仕事内容と 共にメンバーの紹介をします。

NST(栄養サポートチーム)

栄養改善が必要な患者様に、医師、看護師、薬剤師、理学療法士、言語聴覚士、臨床検査技師など多職種で個々にあった栄養療法を検討しサポートしています。NST専門療法士の資格を持つ吉田さんは、栄養科の責任者でもあり、みんなを引っ張っていってくださる存在です。折り紙とパン作りがとても上手です。また、よく散策に行くので癒しスポットを沢山知っています。

外来栄養指導

当院では、糖尿病や脂質異常症、妊娠糖尿病など様々な疾患の外来栄養指導を週3日(水・金・土)開設しています。水曜日の担当は後藤さんです。ママには見えませんが10歳と6歳の2人のお子さんを育てながら、主任としてみんなをまとめてくれます。栄養科の中でムードメーカー的な存在で、いつもみんなを明るく元気にしてくれます。

金曜日の担当は倉澤さんです。入社3年目ですが細やかな所まで目を配ることができ、仕事に抜けがないしっかり者です。運動が得意で、筋肉トレーニングに詳しく部分痩せやシェイプアップなどの知識も豊富です。悩みを相談すると色々と教えてくれます。

栄養管理計画書の作成・入院栄養指導

患者様の疾患や既往歴、採血データや食事摂取量などから栄養管理計画書を作成します。計画書を基に患者様の状態に合わせてお食事の内容を調整しています。また、医師の指示に基づき入院中の栄養指導と退院時にご家族様へ栄養指導を実施しています。

齋藤さんは昨年4月に育休から戻られました。3人のお子さんを育てながら仕事をしています。とても穏やかな性格で聞き上手な方だと評判です。休日にはバレーボールをするなどアクティブな一面もあります。

大和田さんは昨年4月に新卒で入社しました。趣味はお菓子作りです。社会人1年目の栄養科の末っ子的存在ですが、芯があり勤勉で、日々患者様のために一生懸命仕事をしています。

そして私茂木は、地元群馬県で働いておりましたが、栄養指導やチーム医療に携わりたく、菅間記念病院の求人を見て、昨年栃木県へ引っ越してきました。栃木県の方は皆さんとても優しく親切にしてくださり、あっという間に馴染むことが出来ました。患者様一人ひとりに寄り添える管理栄養士としてチームワークを大切にこれからも頑張っていきたいと思います。院内で見かけた際はお気軽にお声掛けください。引き続きよろしくお願い致します。















看護部 ~透析室での取り組み~

菅間記念病院の透析室を紹介します。普段は外来の患者 様は80名、入院患者の患者様20名が、定期的な血液透 析を受けています。20年以上通われている方がおられる 一方で、腎機能が悪化し慢性腎不全となられ、新たに透析 に通われる方もいます。当院の腎内科で治療中に透析に移 行される患者様や、他院で治療中に当院に紹介され、バス キュラーアクセス(内シャントや人工血管、カテーテル) を設置後、透析を導入される患者様も多くいらっしゃいま す。透析室は、渡り廊下で中央病棟と結ばれた南病棟の1 階にあり、中央玄関を介さず別な入口から入室可能です。 通常は29床のベッドで透析を行いますが、奥に拡張フロ アがあり、当日臨時で追加された方や、発熱などで他の患 者様と離れて透析を施行する場合に使用します。午前透析 (8:00~12:30) と午後透析(12:30~17:30) で 29 名ずつ、およそ 120 名までの患者様の治療を行うこと ができる体制です。

当院の透析室で力を入れていることを紹介します。1つは、バスキュラーアクセス(以下シャント)の管理です。定期的にシャントにエコー検査を臨床工学技士 CE(ME)が行い、形態観察(狭窄の発見)、血流量・血管抵抗の測定を行う『シャント管理』をしております。狭窄や血流低下の早期発見に努めており、透析患者様の命綱である大切なシャントを守ることに全力を挙げて取り組んでいます。シャントに問題が認められた場合は、すぐに医師に報告してシャント治療を施行します。シャントは血流が無くなって詰まってしまう前に治療することが大切です。当院の強みは、シャントの経皮的狭窄拡張術や再建手術、新規造設

手術が院内で可能であることです。他院に行かれる必要はありません。

取り組みのもう1つは、透析室でのフットチェックです。 透析患者様は足部の冷感や痛み、潰瘍形成が起こりやすく 治りにくいため、患者様全員を対象に毎月2回、透析中に フットチェックを実施しており、足の異常の早期発見に努 めております。チェックで問題がある場合フットケアチー ムに引き継ぎ、潰瘍、感染が生じた場合は外科・循環器科 が治療にあたります。下肢の血流が低下する動脈硬化には、 カテーテルによる血管内治療、コレステロールなどを減ら し血流を改善する吸着型血液浄化器による治療も行ってい ます。

菅間記念病院透析室には、この度、着任された佐久間医師を含め、常勤医師2名、非常勤医師3名が在籍しております。看護師4名、臨床工学技士9名、看護助手2名が医師の指示のもと、共に協力し合い、親身な対応を心掛けながら処置等を実施しております。今後も、当院にて透析患者様が安心かつ安全に透析治療を受けられる様にスタッフ全員が一丸となって取り組んでいきます。



▲ 透析室メインフロア

▲ 拡張フロア: 緊急透析等に使用

新任医師紹介

さくま やすひろ 佐久間 泰弘 先 生



◆専門分野 一般内科 循環器内科 血液透析

●出身地

山形県 鶴岡市 ◆趣味・特技 心臓超音波検査 車の整備 愛犬を愛でる (?)こと 1月から菅間記念病院に勤務することになりました 佐久間です。気づけば50歳になり、医者になってから の人生が全人生の半分を超えてしまいました。紆余曲折 あり、医師歴の前半は循環器、後半は血液透析を中心と した内科診療をすることになりましたが、循環器的観点 や超音波検査をはじめとした生理機能検査を生かして透 析や一般内科の診療を行うという自分のスタイルができ てきました。これをより活かして診療をすることや、医 師として更に成長していくことを考えると、これまでの 環境では窮屈になっておりました。そのため心機一転、 ここ菅間記念病院で皆様により良い医療として提供でき るように、また皆様の信頼できるかかりつけ医となれる ように精進していきます。



那須看護専門学校





コロナはどうなる? - 学校長の独り言 - **しる たかし 那須看護専門学校 学校長 屋代 隆

上川前学校長(名誉学校長)の後任として赴任したのが 二年半前。赴任三日後には、すべての講義をオンラインで 行うことを決定・実行、臨地実習も校内実習へ切り替えた。 以来、何をするにも Covid-19 を意識しながらの学校運営が 継続している。油断をしているつもりはないが、国内・県 内の感染状況が悪化すると学生さんの中から感染者や濃厚 接触者が出てくる。最近ではそのほとんどが家庭内感染で あるから、もちろん誰も責められない。看護学生も医療従 事者の一員である、との認識を彼らが持ってくれているの が救いであるし、当校の運営母体である博愛会・菅間記念 病院が県内の他の大規模病院よりも率先して多数のコロナ 患者を受け入れ、そして変異株のゲノム検査まで引き受け るなどして高い評価を得ていることも誇らしい。でも、居 酒屋やお寿司屋さんのカウンター席が大好きな学校長であ るが、ほぼ三年間一度も行っていない。学生さんと飲みに 行ったこともない。代わりに宅飲みが増えている……。も ういい加減にしてほしい。「いつになったらコロナはあける のであろうか……」と自問している。そして恐る恐る学会 に出かけたりしている。

9月にはWHOテドロス事務局長が「Covid-19によるパ ンデミックの終息が視野に入った。」との認識を示した。で は日本はどうなるのであろうか。このところ、感染者数は 世界で一番だそうである。数ヶ月ほど前になるが、慶応大 学菅谷憲夫教授の興味深い解説が発表された。以下のとお りである。「欧米諸国の感染者数の全数把握はしていないの で、感染者数は抗体保有率で比較している。抗体保有率は, 抗ヌクレオカプシド(N) 抗体および抗スパイク(S) 抗体 を測定した結果で報告されているが、抗N抗体はウイルス 感染のみで誘導され、抗S抗体はウイルス感染とワクチン 接種により誘導される。したがって、感染者数は抗N抗体 の有無で推定することができる。欧州、イングランドでの 抗体保有率を調査した報告を見ると, 抗 N 抗体は, 2022 年3~5月の期間では58.4%, 抗S抗体は99.6%であった。 6~7月の期間では、それぞれ68.6%と99.7%であった」 日本では、抗ら抗体の保有割合は、どちらの調査において も90%以上を示しているが、抗N抗体は欧米の数分の一程 度と低い(多分20%程度)。欧米ではマスクなし、出入国 制限もフリーであるが、それは大多数の国民がワクチン接 種を受け入れ、さらに COVID-19 感染を経験して既に免疫 を獲得し集団免疫ができ上がっているから、それができる のであろう。それに対して日本では、「ワクチン接種率を反映した抗 S 抗体の保有割合は欧米と大差はないが、感染者の割合が圧倒的に低い」とも菅谷先生は述べている。

それでは結局、日本人がもっともっと感染しないと集団 (社会)免疫は完成されないのか……、とぼやきたくなる。どうすればいいんだい!、と言いたくなる。このウイルスでは変異を繰り返しながら「感染力は増すが、毒性は低下する」というウイルス学の教科書的な現象は間違いなく起きてはいる。せっせとワクチンを打ち続けるのが、最善の対応策なのであろうか。本原稿を書いているたった今(11月22日午後)、塩野義製薬の抗ウイルス剤(ゾコーバ)が緊急承認されたというニュースがネットで流れた。軽症、中等症の症例に使用できる内服薬である。そうだ、これに期待しよう。これが救世主になるかもしれないし、そろそろ普段の生活様式に戻ってもよい時期でもあるし。



看護の誓い 戴帽式を行いました



▲ 昨年6月、黒磯みるひぃホールで行われた式典の様子。菅間 記念病院をはじめとした医療機関での実習へ向け決意を新たに。

令和 5 年度 入学生募集							
入試形態	試験内容	願書受付期間	運動 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1				
第二回 一般 入学試験	学科目試験 ・国語総合 ・数学 A ・英語 面接試験	1月5日 (木)	2月4日 (土)				
第二回 社会人 入学試験	一般常識 (小論文形式) 面接試験	1月25日 (水)					

お問い合わせ(募集要項請求)

• 〒 329-3135 栃木県那須塩原市前弥六 54-1

TEL: 0287-67-1188

URL: https://www.hakuai.ac.jp/



在宅総合ケアセンター

「登校サポート外来におけるカウンセリング」 ~ 安心して人とつながる場に~



2020年9月、小児科に「登校サポート外来」が開設され、 現在、多くの小中高生が通院しています。この度、2022 年9月から、新たにカウンセリングが加わりました。

不登校の状態の子どものこころと身体

ご相談をうかがうと、次のような訴えが多く聞かれます。 **心理面**:学校に行こうと思っても行けない、学校に行くの が怖い、クラスに入ることが不安、学校に行けない自分は ダメだという罪責感、自信の喪失など。

身体面:身体がだるくて起きられない、頭痛、腹痛など。 こうして毎朝毎朝、葛藤することで、ご本人とご家族が疲 弊していく姿を見ています。ご家族も、どうしたらお子さ んの力になれるかと悩み、お子さんの健康や将来を心配さ れています。

カウンセリングの位置付け

対象:登校サポート外来に通院している小学生~高校生登校サポート外来において医師が行う体調不良の評価や治療と並行し、医師の指示のもとカウンセリングを行います。

カウンセリングの目的

ご本人の声に耳を傾け、ご本人とご家族と一緒に考え、主に心理的な訴えに関して、ご本人自身のリソース(力のもと:持ち味・願い・能力、支え)に注目し、それらを活かすことでご本人自身が問題解決に向かえるようお手伝いをします。また、ご本人のリソースでもあるご家族や学校とご本人がつながるお手伝いをします。



▲ カウンセリングの様子

カウンセリングの内容

- 1. ご本人と会話を通して安心や気づきを促し、ご本人自身が問題解決に向かうためのこころの調整を図っていきます。 2. ご家族とも相談を進め、ご家族が安心して関われるよう理解と見通しを共有しながら、ご本人が安心できる生活環境を調整するとともに、生活習慣の改善に少しずつ取り組みます。
- 3. ご本人のこころの発達段階や発達の特性・性格など、心理学的な視点から見立てをして、ご本人が抱えている問題を一緒に理解していきます。
- 4. 医師やご家族、必要に応じて学校とつながり、お互いの情報を持ち寄り、ご本人についての理解を深め、適切な援助を行います。

子どもはこころの成長の途中にあり、日々新しい課題に チャレンジしています。そして、うまくいったり、つまず いたりしながら、さまざまな経験を通して一段と成長して いきます。つまずいたとき、自分の力で立ち上がるには、 つまずきへの適切な理解と温かい見守り、応援(つながり) が必要であると感じています。カウンセリングでは、子ど もの自主性を促しながら、回復と成長のプロセスをご家族 と共に応援し、伴走していきます。

カウンセリングは、子どもが自分のペースを理解したり、 強みをみつけたりする作業でもあると考えます。そのプロ セスは平坦なものではないかもしれません。その姿を近く で見守ることも時にしんどく、やきもきするものです。し かし、子どもは、適切なサポートを得て心身の健康を回復 させ、問題を乗り越えたとき、一段と成長した逞しい姿や 笑顔を見せてくれます。多くの可能性を秘めた子どもが健 やかに育つ一助となれますよう対応してまいります。

担 当 : 地域医療連携室 公認心理師 **廣木しのぶ** 主な対象: 登校サポート外来通院中の小学生 ~ 高校生

カウンセリングには、小児科 登校サポート外来の受診と医師の 判断が必要です。受診の際に医師にご相談ください。

※登校サポート外来受診は、事前にお電話にてご予約をお願いします。

#問い合わせ 菅間記念病院 (代表) TEL 0570-08-0733

菅間付属診療所

(菅間記念病院サテライトクリニック)

あけましておめでとうございます。寒い日が続いていますが、いかがお過ごしでしょうか?

去年の秋から新型コロナウイルスの制限が緩和され、出歩く機会も多くなったと思います。冬のインフルエンザも流行る時期なので、楽しく過ごす中でも、一人一人の感染対策を忘れずにしっかり行っていきましょう。

小児科の診察日が増えました

	月	火	水	木	金	土
午前	八木	-	末武			(本院にて診療)
午後	八木	-	未武	未武	未武	八木

火・日を除き、予防接種、発熱外来の対応をしています。

予防接種: 希望接種日の1、2週間前にお電話でご

予約ください。

小児発熱外来: 発熱、風邪症状、その他腹痛、下痢、嘔吐、

など体調不良の方をご案内しています。 上記症状ある方はまずはお電話くださ い。症状をお伺いして、ご案内します。

柔軟に対応できる様、スタッフ一丸となって、今まで以上に受診しやすい環境を整えていきたいと思っています。 お気軽にご相談、ご来院ください。

クリニックでワクチンデビュー



生後2か月で初めての予防接種を実施されるベビーがぞくぞく増えています!

ご希望の方にはデビューの記念写真を撮らせて頂いて、 プレゼントしています。当クリニックでワクチンデビュー しませんか? スタッフー同、お待ちしています!

菅間付属診療所 TEL 0287-67-1570

ウェルネス NASPA ウェルネス NASPA2

ウォーキングは健康のために最も気軽にできる運動ですね。ウォーキングの効果は、生活習慣病の予防・改善、心肺機能の強化、骨の強化の他にも、腰痛の改善やストレスの軽減など様々なものが挙げられています。しかし、普段からウォーキングをしている人も、これから始めようと思っている人も、どのくらい歩けば良いのかというのは実はあまり知らないのではないでしょうか。

「中之条研究」というものをご存じですか。群馬県中之条町の住人を対象とした大規模研究で、1日あたりの歩行量から予防できる病気や状態が示されています。各メディアにも取り上げられているので覚えている方もいるかもしれません。この研究より、1日あたり5,000歩で要介護を、8,000歩で生活習慣病を、10,000歩でメタボリックシン



▲ ノルディックウォーキングの様子

ドロームを予防できることが分かっています。さらに注目 なのは、1日の歩行量の中に「速歩き」を一定時間求めら れていることです。速歩きをするには、それなりの身体機 能が必要です。関節の柔軟性や筋力、姿勢や体の協調性な どがそうですが、こういった要素はなかなか自分では分か りにくいですし、どうやって改善していけば良いのかとい うのも難しいと思います。NASPAでは、医療や運動の専 門スタッフがお一人お一人のお身体をチェックし、状態と 目的に合わせたトレーニングメニューを提供しています。 さらに、NASPAではノルディックウォーキング教室を開 催しています。ノルディックウォーキングは、専用のポー ルを使用することにより、腰や股・膝関節の負担を軽減で きます。また、ポールを後方に押しながら歩く全身運動で あるため、多くの筋肉を使うことができたり、効率的にエ ネルギーを燃焼させることができます。NASPA で健康に 向けた運動を始めてみませんか?

お問い合わせ ウェルネス NASPA TEL 0287-67-1577 ウェルネス NASPA II TEL 0287-73-5936

MOTSTO

♥ Happy Wedding & Birthday ♥

入院中の患者様・御家族様から、孫息子様の結婚式へ の参列についてご相談がありました。「おばあちゃん子 だったので祖母の誕生日に結婚式を予定しました」との お話。病状的に式場までの外出が難しいとの判断があり ましたが、主治医とも相談の上、病院の許可を取り、思 いを叶えて差し上げることができました。日曜日の昼、 当院正面ロビーにて、外来患者さまとの交差をしないよ う十分な環境配慮をしてのご対面です。

神様も微笑んで祝福しているかのような秋晴れの良き 日、ご家族は眩しく輝いて見えました。

末永いお幸せを病院職員一同願っております。



毎年10月末、のびのびアカデミー のレッスンはハロウィン一色。子供 達(0~5歳児)はそれぞれかわい い衣装で魔女さんからお菓子をもら います♪「トリックオアトリート!」 の掛け声とともに今年もみんなでハ 予定はこち ロウィンを楽しみました♪







私の好きな風景 Vol.13

地元日光の好きな風景

わたしの実家では犬を飼っていまして、たまに実家に帰 るときには必ず犬を散歩に連れて行くのがお約束になっ ています。そこで、わたしのお気に入りの散歩スポット をご紹介したいと思います。

わたしの実家から車で10分程のところに日光だいや 川公園という大きな公園があります。ここは緑が多くと ても広い公園でキャンプやアスレチックもできるように なっています。そして、春には道の両脇に桜が咲き並び、



▲ 日光だいや川公園

臨床検査科 湯澤 はるか

夏には青々とした草木、秋には赤や黄に染まった紅葉、 冬は雪で一面真っ白な雪景色と季節によって様々な美し い風景を見ることができます。ここで愛犬と散歩をしな がら季節を感じるのがわたしの癒しとなっています。

また、春には日光街道の桜並木を訪れて散歩をするの が毎年の恒例になっています。こちらは桜の季節になる とみられる絶景スポットで国道 119号(日光街道)と宇 都宮環状線が交差する上戸祭町交差点から北へ、日光市 山口まで約16kmも桜並木が続きます。ここはドライブ だけでも十分に桜を満喫することができるので、日光に 来た際にはぜひ立ち寄ってみてください。



▲ 日光街道の桜並木